

## 第1回「(仮称)学研都市から世の中を変える会」議事録(骨子)

### ◆「(仮称)学研都市から世の中を変える会」の趣旨説明

- 学研都市の大学の大きな問題は、お金が足りないことである。
- 地域というスタンスから見た時に学研都市やFAISがあまり見えない。
- それぞれの地域が変わっていけば、国全体として大きな流れを導くことができるので、世の中を変えていくことができるのではないかと。
- ロボット・DX推進センターは、地域企業の生産性を向上させるために動いていくというメッセージがあるが、大学に対してはどのように市やFAISが動いていくか何も決まっていない。
- 北九州市は、企業の研究施設がなくなっており、テクノロジーやサイエンスの頭脳は大学にしか残っていないが、大学も力を結集して新しいものをアジアに向かって発信しようという方向に向かっているとは言い難い。
- 変える会の議論の焦点は、地域を見るか、大学の発展と活性化を見るのかのどちらでもよいが、世の中にイノベーションを起こすという意味では、大学には「研究」を中心に議論していただきたい。
- FAISの役割として大学の支援を強く打ち出したいと思っているので、FAISの大学支援策に関して委員の皆様のご意見を反映できる形にしたい。

### ◆会の名称について

- 会の名称については、今日決めるということではないが、まずはご意見を伺いたい。
- 名称について案があれば、事務局の方にご連絡いただきたい。
- 世の中を変える会という名称は、政治的なことをするようなイメージがあるので、そういうテイストを弱めた名前のほうが良いと思う。
- 「北九州ルネッサンス構想」は、それを憲法のように考えていろんなことを実施し、学研都市もできたという点においては、わかりやすいネーミングだったと思う。

### ◆会の開催方法・議事録(骨子)の公開について

- 議事録は、骨子を公開するが委員の名前は出さない。

- ・ 議事録の骨子（案）は、事前に委員の皆様にご確認いただく。
- ・ 議事録は、この会が2回、3回と進んでいった過程で公開していきたい。
- ・ 議事録は、各大学の執行部から要望があれば、見せることもあり得る。

#### ◆意見交換

- ・ 三大学の強みや伸ばせる部分について議論するのが良いのではないか。
- ・ 地域と世界のバランスに関しては、世界の中で学研都市がどう思われているかの視点で大学研究者の国際活動を共有することが重要である。
- ・ 学研都市は敷居が高いと思われているので、もっと見える化をして抜本的に変えていくことが大事だと思う。
- ・ お金は必要なので、資金獲得方法を考えた方が良い。
- ・ アイデアはたくさんあるので、省庁への働きかけ方を共有したい。
- ・ 国の補助金の審査は大学の名前で判断するようなどころがあり、公平性に欠けているような気がする。
- ・ FAIS も今年から大学担当のコーディネータを増員したが、大学の支援は、もう少しシステムティックにやる必要があると思う。
- ・ 各大学の URA と FAIS のコーディネータが交流を深めて、一緒に動けるような体制を作ろうと考えているので、もう少し厚い支援ができるのではないかと考えている。
- ・ ルネッサンス構想当時は、0 から 1 を作る過程であったが、今後は 1 をどこまで伸ばすかという過程なので、プロセスとしては異なるのかなと思う。
- ・ 優れた人材が学研都市に来たいと思うことが非常に重要であるので、我々がベンチャー育成や研究施設といった空間を用意すべきだと思う。
- ・ 大学の使命の一つは、優れた研究者や卒業生が社会に出て働く場を作っていくことである。
- ・ 新しい種を植えていくためのベンチャー育成も大事だと思うので、そういう仕組みを学研都市に作ることも重要になってくるのではないか。
- ・ 大学にとって一番難しいのは優秀な人材の確保だと思うので、その手法を考えていかなければならない。良いアイデアを出してほしい。
- ・ 学研都市が自由気ままに研究できるという環境になると、若く優秀な人が集まってくると思う。そのための資金を確保することも大事だと思う。FAIS が若い人のための基金を設立できないか。

- 留学生は、高い技術があり、夢を実現するための強い意志も持っている。彼らの帰国後に次の若い留学生がやってくる仕組みも考えた方が良いと思う。
- 留学生は、住むところや生活に困っているので、学研全体、3大学で情報共有すると良いと思う。
- 留学生に対してはサービスが落ちており、市営住宅はたくさんあるのに入るのが難しいことなど、住環境に関するサービスが低下していると思う。
- 国内に居住していなくとも市営住宅に入れるように北九州市に要望したが変わっていない。
- 奈良先端科学技術大のように留学生に寮を完備することも重要である。留学して市営住宅に直接入れないのは問題だと思う。
- 数年後に学研都市の教員宿舎がなくなるという噂は本当か。
- 学生を集めるためには寮も重要だと思うが、家賃の一部補助の方が良いのではないか。
- 学生寮は、寮生の仲間意識の醸成という意味ではメリットがあると思う。
- 文部科学省は、大学に寮が必須とは思っていない。
- 学研都市ができるときに、北九州市再生の観点から寮の設置を求めた先生はいた。
- 以前に生協がやっていたような寮に入るための手続きの代行や説明など、学研都市としての留学生受け入れサービス機能があった方がよい。
- 留学生の中にも貧富の差がかなりあるので、一律に支援するのではなく、本当に必要な学生に届くようなサービスを行う必要がある。日本の学生を含め、本当に必要な人を支援すべきではないか。
- 特に県外からの学生に対する補助などをもう少しサポートできれば、優秀な学生が集まってくるのではないか。
- ネットワーク不足が問題である。日本人学生と留学生の交流に関しては、寮の作り方やデザインを工夫すればうまく交流できるのではないか。
- インターンシップを通じて地域の企業とのネットワークが広がるので、北九州市を拠点としたインターンシップの推進をやってはどうか。
- 各大学と地域とのネットワークを深めるために、早大が行っている地域企業との連携の仕組みを広げていきたいので、そのためのコーディネーター人材の活用方法などを考えなければならない。
- 学研都市の研究者情報が見られていないので、見える化をする必要がある。

二号館の壁に企業や工場の看板を出すと見え方が変わってくる。学研都市が何をしているか見えるようにすべきではないか。

- 早大の留学生が日本人の友達ができないと言っているので、日本人学生と留学生が交流しやすいネットワークをつくり、学生が集まるイベントなどをやってはどうか。
- 企業の新進気鋭のエンジニアと話す機会がこの学研都市でもあればいいと思う。
- 優秀な多くの教員を確保するためには教員宿舎は必要だと思う。
- 学研都市の研究者は、すでに世の中を変えるくらいの研究レベルに達しているのではないか。そうであれば、効果的な発信方法を考える必要がある。
- 個人の研究の力が大事だと思うので、学研都市全体の研究の質を変えられるような研究者に来てもらいたい。
- 優秀な学生と卒業後もコミュニケーションを続けて、ネットワークがつながることが大事だと思う。
- 地域産業への貢献と世界に発信できる研究成果を学術的にアピールすることは両方大事だと思うが、学研都市としてどちらのメッセージを出していくべきかを考えなければならない。
- 尖っている研究をどのようにアピールしていくかは大事だと思うが、両方の議論が必要ではないか。
- アジアの留学生はスタートアップできるマインドがあるので、留学生を活用して「スタートアップしやすいまち学研都市」として整備していくのが良いのではないか。
- FAIS のホームページをもっと魅力的に整備してはどうか。常にアップデートすべきではないか。
- 新科学館と FAIS はつながりがあるのか。
- いろんな形で交流はあると思うので、大学とも連携してイベントなどを行うことはできると思う。。
- 北九州市が推進する「New U」のキーワードに「学び」を入れ、「学研都市」もフィーチャーしてほしい。
- 誰に対して効果的なアピールをするかを考える必要がある。研究者か地元企業か、方向性を決めて見える化を考えるのも一つの方法である。

- 「New U」は若い人がターゲットなので、学研都市で学べることや、スタートアップに関する事などをPRしてもよいかもしれない。
- 学研都市から世の中を変えるためには、現在の社会ニーズとそれに対する技術の動向などを踏まえたうえで、学研都市がどのような取組みを行っているのかを説明していく必要がある。このような説明は、技術の専門家より経済や社会学の専門家の方が向いていると思うので、文系の先生と議論できる文理融合的な仕組みがあると良いと思う。
- 北九大の文系や西日本工業大学デザイン学部との交流も必要かもしれない。
- 学研都市のような技術系の場所でも音楽や演劇などのサークル活動を活発化することも重要ではないか。
- 学研都市には飲み屋などの遊ぶ場がないので若者が集まらないのではないか。飲み屋は交流の場として必要ではないか。
- 大学生や高校生が描いている北九州未来予想図の将来像と学研都市の研究活動をどのようにリンクさせるかを考えることが一つの道しるべになるのではないか。
- 中小企業がどのような成長ビジョンを描いているのかということも重要だと思う。
- 本日の意見を事務局で整理して、次回議論したい。
- 学研都市に必要なファシリティやサービスなどがキーワードの一つになると思うので、次回のテーマとしたい。